

新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言期間延長に伴い、
記念フォーラムは **開催中止** といたします。

道民カレッジ連携講座（教養：一般2・ジュニア1）

第9回 新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 記念フォーラム

日時： 2021年6月19日（土）14：00～16：30 （開場13：30）
場所： かでる2・7 北海道立道民活動センター 8階 820 研修室
（中央区北2条西7丁目）

入場無料／予約不要
マスク着用でのご参加をお願いします

■ オープニング

札幌遠友夜学校記念館建設に向けて（経過・現状報告）

松井 博和（一般社団法人「新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会」理事長）

■ 基調講演

オープニングおよび基調講演は、後日、オンライン動画配信します。

新渡戸稲造と松山事件 ～警世の扁額から～



青山 淳平 氏（作家）

“Tranquillity of Ocean Depth”
（深海の如き静けさ）

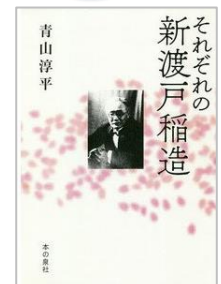


いわゆる「松山事件」で屈辱を味わい、苦境に追い込まれた
新渡戸博士が揮毫したとされる扁額の謎に迫る。

＜講師プロフィール＞ 1949年山口県下関市に生まれる。松山商科大学（現松山
大学）大学院修了。高校社会科教諭の傍ら幅広い分野をテーマに小説、評伝など
を執筆、各界より高い評価を得る。第3回稲造サミット・十和田パネリスト。

「ソローキンの見た桜」原作者として第1回日本放送文化賞。

主な著書：『海市のかなた一戦艦「陸奥」引揚げ』（中央公論新社）、『夢は大衆に
ありー小説・坪内寿夫』（中央公論新社）、『海にかける虹―大田中将遺児アキコの
歳月』（NHK出版）、『海は語らない―ビハール号事件と戦犯裁判』（光人社）、『海運
王・山下亀三郎』（光人社）、『明治の空～至誠の人 新田長次郎』（燃焼社）、『小説・
修復腎移植』（本の泉社）、『それぞれの新渡戸稲造』（本の泉社）



- ◆会場アクセス： JR 札幌駅南口より徒歩13分、地下鉄さっぽろ駅10番出口より徒歩9分、
公共地下歩道（地下歩行空間から北1条地下駐車場連絡口を通る）1番出口より
徒歩4分 <http://homepage.kaderu27.or.jp/intoro/access/index.html>
- ◆主催：（一社）新渡戸稲造と札幌遠友夜学校を考える会 <http://nitobe-enyu.org/>
- ◆共催：（一社）札幌農学同窓会 <https://www.alumni-sapporo.or.jp/>
新渡戸稲造記念遠友みらい塾 <http://enyumirai.main.jp>
- ◆問合せ：Eメール info@nitobe-enyu.org ／電話 011-577-1441 ／FAX 011-241-1150／
郵便 〒060-0061 中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル
- ◆後援：北海道・北海道教育委員会・札幌市・札幌市教育委員会・北海道新聞社・朝日新聞北海道支社・
読売新聞北海道支社・毎日新聞北海道支社

※ 道民カレッジガイドブックには本フォーラムを第8回と記載してありますが、昨年6月開催
予定だった第8回はコロナ禍により延期ではなく中止となったため、第9回としております。

新渡戸稲造と札幌遠友夜学校

1862（文久2）年9月、南部藩士・新渡戸十次郎の三男として盛岡市に生まれた稲造は、1877（明治10）年、札幌農学校（現北海道大学）第2期生として内村鑑三、宮部金吾らと共に入学。さらに東京帝大、米国・ドイツで学ぶ。1891（明治24）年、メリー・エルキントン嬢と結婚、同年、札幌農学校教授に就任。1894（明治27）年、夫妻で札幌遠友夜学校を創設、生涯校長を務める。札幌遠友夜学校では1944年までの50年間に、600人を超える札幌農学校および北大の学生らが無償で教え、5,000人以上の子ども達が楽しく学んだ。校名の「遠友」は『論語』の「朋あり遠方より来る、また楽しからずや」と、生後8日で夭折した愛児「遠益」の名に由来する。

1898（明治31）年、病気のため札幌農学校を辞任。1900（明治33）年、米国で『武士道』を出版。その後、台湾総督府技師、京都帝大教授、第一高等学校校長、東京帝大教授、拓殖大学監、東京女子大初代学長、女子経済専門学校（新渡戸文化学園）校長を歴任し、1920（大正9）年、国際連盟事務次長、1929（昭和4）年、太平洋問題調査会理事長となる。1931（昭和6）年5月、札幌農学校辞任後2度目で最後の北海道訪問時に遠友夜学校来校。1933（昭和8）年、カナダにて第5回太平洋会議に参加後、10月客死、享年71歳。1984年に発行された五千円札の肖像となる。



札幌遠友夜学校記念館建設募金のお願い

本会は2013年に法人としてのスタート以来、稲造が掲げた自由・平等・慈愛あふれる教育と人材育成のシンボル、ならびに志を受け継ぐ活動拠点として「札幌遠友夜学校」跡地（南4条東4丁目）に記念館を建設することを目指し、史料収集、読書会、学習会、記念公園の美化活動等を通して本会の趣旨・活動へのご理解ご賛同を広げ、建設資金への募金をお願いしています。「札幌遠友夜学校」跡地は現在、「新渡戸稲造記念公園」として、掲示板と花壇が設置されていますが、今春、（株）北海道コカ・コーラボトリングのご協賛を得て、稲造デザインを施した飲料自動販売機も設置されました。この売上の一部も記念館建設資金となります。昨年度より白糠町の多大なるご協力を得て、クラウドファンディングによる募金も開始しました。当初予定からは少し遅れましたが、2023年の記念館完成に向けて活動・努力を加速させているところです。

本会活動は、札幌市、市教育委員会、北大はじめ大学・政財界・企業等で活躍される著名人、新渡戸博士と関係の深い国の代表の方々、そして何より日本全国・全世界の“新渡戸ファン”の熱い応援に支えられています。この紙面を手になさった皆さまもぜひ私たちと一緒に“新渡戸の子”として「協働の精神によるみんなの共有の場」を作る活動に加わっていただきたいと強く願っております。

クラウドファンディングを含めた記念館建設募金の詳細は、下記の本会ホームページでご覧いただけます。紙媒体でのご案内もできますのでお問い合わせください。



〒060-0061

札幌市中央区南1条西5丁目8 愛生館ビル

TEL: 011-577-1441 FAX: 011-241-1150

info@nitobe-enyu.org

http://nitobe-enyu.org/



記念館完成予想図

© Naomi Darling Architecture, LLC